

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



ねりま 地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.86



練馬つながるフェスタ in 練馬 参加団体特集



2面

環境まちづくりNPO 元気力発電所
江原 文子(えはら ふみこ)さん



3面

ぼくらの美術研究所
尾崎 陽子(おざき ようこ)さん



「練馬つながるフェスタ」は、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の日頃の取り組みを見て、聞いて、知って、たくさんの仲間と“つながる”ことができるイベントです。

令和6年3月2日(土)に開催した「練馬つながるフェスタin練馬」では、多くの団体、来場者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。今回は、練馬つながるフェスタに参加された2団体にインタビューを行いました。普段の活動に加え、つながるフェスタでの感想やその後のつながりについても紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

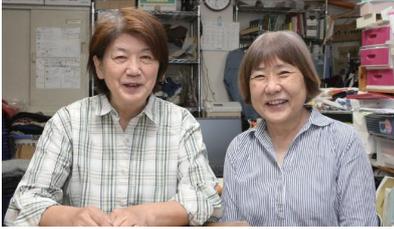
今年度はこちらの日程で
開催します。たくさんの
参加をお待ちしています!



6月29日(土)	春日町図書館
8月3日(土)	石神井公園区民交流センター
9月29日(日)	勤労福祉会館
11月9日(土)	光が丘 IMA
12月1日(日)	関区民センター
2025年	
3月8日(土)	ココネリホール

自然エネルギー活用のさらなる普及を目指して

環境まちづくりNPO 元気力発電所



理事長の江原 文子さん(左)と副理事長の松尾 郁子さん(右)

“省エネルギーの推進と自然エネルギーの普及”という理念を掲げ、20年以上にわたり活動を続けている「環境まちづくりNPO 元気力発電所」。主な活動は、市民発電所の設置と、自然エネルギー活用の啓発のための学習会やイベント開催の2つです。

市民発電所とは、練馬区内の学校や幼稚園など公共性の高い施設に屋根装着型ソーラーパネルを寄贈した場所のこと。自然エネルギーを身近に感じてもら



左：寄付で集まった家庭用品や服が並び石神井ステーション。1日に100名以上来店することもあるそう

右：ステーションの前に設置されたミニソーラーパネル

おうと、これまで11か所に設置してきました。2021年からは、ベランダなどで蓄電できるポータブルタイプのミニパネル設置

もスタート。商店会などに寄贈し、現在6か所で稼働しています。

自然エネルギー活用の啓発では、主にソーラークッカーを使った実演やワークショップを行っています。今年3月、ココネリで開催された「練馬つながるフェスタ in 練馬」では、小型のソーラークッカーを作るワークショップを実施。完成品を家で試した参加者からは「ゆで卵を作ってみた」などの感想が寄せられました。



「出展団体も来場者も多いイベントなので、広く知ってもらえてよかったです」と理事長の江原さんは振り返ります。



「練馬つながるフェスタ in 練馬」で、ソーラークッカー「ひまわり」を作るワークショップの様子

昨年12月には、都内で初となるソーラークッカー全国大会を主催。快晴の平成つつじ公園に約

20団体が集い、多様なソーラークッカーの実演が行われました。来場者は200人を超えたそうで、関心の高さが伺えます。

「コロナ禍以降、ソーラークッキングの

試食を伴うイベントは自粛を続けてきましたが、そろそろ再開したいですね」と、副理事長の松尾さんは言います。

「ガスや電気を使わないソーラークッキングは、防災の観点からももっと注目してもらいたいので、防災イベントへの出展や機材の貸出も増やしていきたいと思います」と江原さん。

活動の資金源は、練馬と石神井の2か所のステーションで運営しているリユース事業の収入です。毎日たくさんの寄付品が提供されていますので、ぜひ足を運んでみてください。

■環境まちづくりNPO 元気力発電所

理事長：江原 文子

住所：練馬区石神井町1-24-6

TEL：03-5393-5944

メール：genkiryoukuhonbu@

diary.ocn.ne.jp



地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■公益財団法人 自然保護助成基金

「プロ・ナトゥーラ・ファンド助成」

【助成対象】3人以上からなる市民グループ等が行う、自然環境の保全に資する調査および研究や自然保護活動

【助成金額】1件あたりの上限額：100万円～200万円

【応募期限】2024年7月11日(18時)

【関連URL】<https://www.pronaturajapan.com/foundation/index.html>

【問い合わせ】公益財団法人自然保護助成基金 プロ・ナトゥーラ・ファンド助成担当係 TEL：03-5454-1789

E-mail：office@pronaturajapan.com

■公益財団法人 SOMPO 福祉財団

「住民参加型福祉活動資金助成」

【助成対象】地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって包括的な支援活動を行い、次の2点を満たす団体。①東日本地区に所在する ②5人以上で活動し、営利を目的とせず法人格がない

【助成金額】1件あたりの上限額：30万円

【応募期限】2024年7月12日(17時)

【関連URL】<https://www.sompo-wf.org>

【問い合わせ】公益財団法人 SOMPO 福祉財団

TEL：03-3349-9570 E-mail：office@sompo-wf.org

誰もがアートを楽しみ表現できる場所

ぼくらの美術研究所



代表の尾崎 陽子さん(中央)、美術講師の吉田 美木さん(右)と櫻井 美江さん(左)

光が丘を中心とした公共施設で、障害や年齢に関係なく誰でも参加できる美術教室を開催しているのが「ぼくらの美術研究所」です。活動のきっかけは、代表の尾崎さんと美術講師の吉田さんが、ダウン症のあるお子さんのために通っていた療育センターで出会い、意気投合したこと。

その後、「高齢者や認知症の方のリハビリやケアに活用されている臨床美術を障害を持つ子どもたちにも役立てたい」と考え、



「モノタイプ版画」に取り組む参加者。アルミホイルを貼った板にインクを乗せ、綿棒で絵付けをしています

吉田さんが臨床美術士の資格を取得したことを機に、2013年に団体を立ち上げました。

モットーは“障がいのある人も「練馬つながるフェスタin練馬」の様子
ない人も一緒に本気アート”。月1回、3才から大人まで幅広い年齢の方が集まり、版画、水彩画、コラージュなど様々な制作テーマで作品を完成させます。指導にあたるのは、吉田さんを含む3名の美術講師です。制作テーマに合わせ、本格的な画材を使えるのも楽しみのひとつ。

「本気でアートを楽しんでもらうため、プロ仕様の画材を使うことにもこだわっています」と、

吉田さんは言います。

取材に伺った日の制作テーマは「モノタイプ版画」。握力が弱く、彫刻刀が使えない人でも取り組めるなどの工夫が凝らされ、参加者は自分のペースで制作を進め



「練馬つながるフェスタin練馬」の様子

ます。そのなかで、版画のモチーフのことをいきいきと語ってくれるお子さんの様子が印象的で

した。制作後は、色とりどりの作品を並べて鑑賞会を行いました。

今年3月には、より多くの方にアートを楽しんでもらおうと「練馬つながる

フェスタin練馬」に初出展。貼り絵でクラフトバッグをデザインするワークショップに多くの子どもたちが集まりました。ワークショップをきっかけに活動に参加した人もいます。

「月に1回、クロッキーに特化した活動も行っているのもっと大人の方にも参加してもらいたいですね」と尾崎さん。今後はつながるフェスタで知り合った団体とのコラボも視野に入れていきたいと意気込みを語ってくれました。

アートで自由に表現を楽しみたいという方は、ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。

■ ぼくらの美術研究所

代表：尾崎 陽子

メール：kana4hona2mykids@

gmail.com

■ 一般財団法人 松翁会「松翁会社会福祉助成金」

【助成対象】医療的ケア児者を支援する民間の事業（施設備品やICT化促進の物品、訓練用品、災害対策品の購入／施設改修／地域支援ネットワークづくりのためのセミナー開催などを想定）

【助成金額】1件あたりの上限額：50万円

【応募期限】2024年7月31日

【関連URL】https://shouhoukai.or.jp/zaidanhojin_shououkai/business/

【問い合わせ】一般財団法人 松翁会 事務局 社会福祉事業部助成係 〒100-0004 千代田区大手町1-5-5 大手町タワー地下1階 TEL：03-3201-3225

■ 公益財団法人 ユニベール財団「特定活動助成」

【助成対象】心のケアのための傾聴活動を1年以上実施し、地元社会福祉協議会の推薦を得られる団体

【助成金額】1件あたりの上限額：50万円

【応募期限】2024年7月19日（17時）

【関連URL】<https://www.univers.or.jp/index.php?civiltactgrant>

【問い合わせ】公益財団法人 ユニベール財団
〒160-0004 新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階
TEL：03-3350-9002 FAX：03-3350-9008
E-mail：info@univers.or.jp



ねりま協働ラボ

～練馬を良くするアイデアを募集します～

「ねりま協働ラボ」は、練馬区と、区内で活動する町会・自治会、NPO、ボランティア団体、事業者等による協働の力で、地域課題の解決をめざす「実験室」です。「こんなことを実現したい」「こういう場があったらいいな」という課題解決のアイデアを募集し、区や団体同士の協働・支援により実現を目指します。



2つのコース

未来創造チャレンジ

3年間の上限
300万円

区との協働で実現を目指す、未来の練馬をもっと良くするための課題解決アイデア

【支援内容】 区との協働実施、広報協力、会場提供協力、専門家による伴走支援

【実施期間】 最大3年間(令和7年4月～10年3月)

【採択予定数】 1事業

【問い合わせ】 地域文化部協働推進課 協働事業担当係
TEL: 03-5984-1613

E-mail: KYODOSUISHIN@city.nerima.tokyo.jp

コラボチャレンジ

1年間の上限
30万円

複数の地域活動団体等による協働で、これまで実現できなかった地域課題の解決に挑むアイデア

【支援内容】 区による広報協力、会場提供協力等

【実施期間】 1年間(令和7年4月～8年3月)

【採択予定数】 5事業

【問い合わせ】 地域文化部協働推進課 区民協働担当係
TEL: 03-6759-9119

E-mail: KYODOSUISHIN@city.nerima.tokyo.jp



活動イメージ

区ホームページ



詳細はこちら

練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。



facebook



<https://www.facebook.com/Nerimakkyodokoryucenter/>



X(旧twitter)



https://twitter.com/kyodo_nerima

ホームページ



※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索

練馬区立区民協働交流センター エックス 検索

練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬 1-17-1 ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL:03-3577-5666